

# KAWANISHI NEXT STAGE 2018

## 継承と改革。 進もう、次なる川西へ。

政策提言 第1弾  
子育て／教育編



第2弾は、福祉／医療編を予定しています!

### 38歳

もりもと

# 森本たけし

## Profile

1980年1月6日生まれ。川西市南花屋敷出身。妻と二人暮らし。  
趣味はマラソン(ハーフ:1'26'35 / フル:3'13'50)。  
加茂幼稚園 / 加茂西小学校 / 川西南中学校 / 伊丹北高校 / 立命館大学経営学部経営学科ファイナンスins。  
(株)ゴールドウインの営業職を経て、2010年に川西市議会議員選挙初当選。現在2期目。  
一般社団法人川西青年会議所 第51代理事長。

## すべては川西の未来のために。

2期8年間、川西市議会議員として川西のまちのために尽くしてきました。  
ほっと一息つけるような、明日は前向きに過ごせるような、そんな元気なまち川西のために。

この十数年で川西は大きく変わりました。  
未来を担うこどもたちを育む政策『学校の整備や学力の向上、食育の推進、安全安心な教育環境など』を進めつつ、子育てを担う家庭を後押しする政策『待機児童の解消、こども医療費の助成、新生児への給付金など』を実現させ、本市がスローガンとして掲げる『あんばい ええまち』となりました。



けれども、川西を取り巻く環境は、良いことばかりではありません。  
人口の減少はもちろんのこと、医療、健康福祉、インフラ整備、財政等、川西を衰退させる可能性のある課題が山積しています。時代の変化がどんどん加速する中、より先を見通した課題解決型の政策が不可欠なのです。

そんな中、発表された大塩たみお市長の引退表明。

これまで築き上げてきた川西の良さを、住みやすさを、過ごしやすさを、ここで途切れさせるわけにはいきません。『あんばい ええまち かわにし』をこれからもっと実現させていく必要がある。だから、私は決意しました。  
大塩たみお市長の意志と実績を継ぎ、川西をより元気なまちにするために、この川西の未来を担います。明日は前向きに過ごせる元気なまち川西を、私が先頭に立って創っていきます。これまでたくさんの方々が一丸で、残してくれた川西を、私も次の世代へ継いでいきたいから。それが、今を生きる私が、未来に対する責任を果たすことになるからです。

これまでのやり方を壊さず、活かし、より前に進めていきます。みなさまとともに。

# 子育て — child raising —



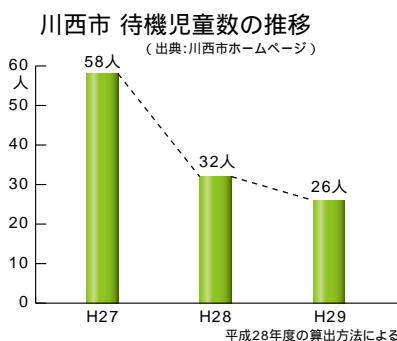
## こどもたちの成長をまち全体で応援します。

川西が誇る地域の力や市民の力を活用して、安心して子育てができる環境を整え、未来を担うこどもたちをまち全体で応援する。これまでの大塩たみお市長が成し遂げた事業に川西のみなさまからいただいた子育て要望を加えて、新しい川西の子育て政策を進めます。



### これまでの本市の取り組み

- 民間保育所・こども園の誘致によって10年間で**971人の定員増**
- 公立の幼保連携型認定こども園「**牧の台こども園**」を整備
- こども・若者ステーションをキセラ川西プラザにオープン
- 留守家庭児童育成クラブの充実(延長育成、受入拡大、クラブ室の整備、民間育成クラブへの支援)
- 病児・病後児保育の実施及び幼稚園での預かり保育を実施
- 乳幼児医療費・こども医療費助成の拡充
- 妊産婦健康診査助成の充実
- きんたくんエンゼル給付金制度(新生児に5000円給付)の創設



## 次なる川西の政策

- 待機児童ゼロに向け民間保育施設を誘致 / 既存施設の定員増を図るための施設整備支援
- 公立の幼保連携型認定こども園を整備
- 留守家庭児童育成クラブの待機児童ゼロ
- こども・若者ステーションを核とした、市民ニーズを捉えた総合的な子育て支援サービスを展開
- 産前から就学まで切れ目ない子育て支援(川西版ネウボラ)
- 地域子育て支援拠点を全中学校区に整備

# 教育 — education —



## 地域社会や日本の発展につながる人材を川西のみなさまと育みます。

まちづくりはひとづくりです。すべてのこどもたちが質の高い教育を受けられる環境を整え、税投資を決して惜しまないプランを実現し続ける。これまでの川西が続けてきた方針を踏まえ、川西のみなさまからいただいた教育アイデアをプラスして、新しい川西の教育政策を進めます。



### これまでの本市の取り組み

- 小中学校の耐震化を**100%達成**
- すべての小中幼養学校に空調設備を整備
- 小学校で**阪神間初の完全米飯給食実施**
- 小学校通学路に防犯カメラを設置
- 全中学校区にスクールソーシャルワーカーを設置
- 川西南中学校にエレベーター設置
- 「きんたくん学びの道場」「先輩に学ぼう」「赤ちゃん先生プロジェクト」などの本市独自の教育施策を充実

## 次なる川西の政策

- 中学校での**完全給食の実施**
- グローバル人材育成のための**英語教育の充実とICT活用の促進**
- 図書館を核とした**知の拠点づくりの実施**
- 里山を活用した**生涯学習支援の実施**
- 学力を向上させるための**家庭教育支援の実施**
- 学校施設の**バリアフリー化を推進**
- 引きこもり・不登校児への**アウトリーチ施策の実施**
- 学校教育における**地域参画・住民参画の促進**

もりもと

森本たけし

メール moritake16.rnp@gmail.com  
携帯電話 090-3616-5629



日々の活動はSNSで発信しています!  
友達リクエスト・フォロー大歓迎です!  
よろしく願いいたします!

川西に対する私の想いをお読みいただき本当にありがとうございました。  
『継承と改革』。これからのまちの未来を創る上で大切な思いだと考えています。これまでの川西市政を引き継ぎ、新たな事業を進めること、その上で一番欠かせないのはみなさまのご意見です。川西で必要だと思われる政策や事業について、私にお聞かせください。必ず伺い、実現に向けて全力を尽くします。よろしく願い致します。





第3弾は、  
まちづくり/  
行財政編を  
予定しています!

かわにしブランドを  
創出する政策実現力!!

森本たけし 38歳

討議資料

## Profile

1980年1月6日生まれ。川西市南花屋敷出身。妻と二人暮らし。

趣味はマラソン(ハーフ:1'26'35 / フル:3'13'50)。

加茂幼稚園 / 加茂西小学校 / 川西南中学校 / 伊丹北高校 / 立命館大学経営学部経営学科ファイナンスins。

(株)ゴールドウインの営業職を経て、2010年に川西市議会議員選挙初当選。現在2期目。

一般社団法人川西青年会議所 第51代理事長。

## 国・県と連携し 住み良いまちづくりを実現します

地方創生の取り組みが本格化して以降、自治体の主体性・独自性が求められる時代に突入しました。一方で川西の財政状況は近隣市町と比べても非常に厳しい状況にあります。老朽化が進む公共施設の維持管理に関する経費や、増加し続ける社会保障関連の経費、公共施設の再配置にかかる経費などを考えると、収入と支出の均衡を達成することは容易ではなく、これからは**厳しい財政運営を強いられる**ことは間違いありません。

## 前回 第1弾での政策提言

### 子育て — child raising —

- 1 待機児童ゼロに向け民間保育施設を誘致 / 既存施設の定員増を図るための施設整備支援
- 2 公立の幼保連携型認定こども園を整備
- 3 留守家庭児童育成クラブの待機児童ゼロ
- 4 こども・若者ステーションを核とした、市民ニーズを捉えた総合的な子育て支援サービスを展開
- 5 産前から就学まで切れ目ない子育て支援(川西版ネウボラ)
- 6 地域子育て支援拠点を全中学校区に整備

### 教育 — education —

- 1 中学校での完全給食の実施
- 2 グローバル人材育成のための英語教育の充実とICT活用の促進
- 3 図書館を核とした知の拠点づくりの実施
- 4 里山を活用した生涯学習支援の実施
- 5 学力を向上させるための家庭教育支援の実施
- 6 学校施設のバリアフリー化を推進
- 7 引きこもり・不登校児へのアウトリーチ施策の実施
- 8 学校教育における地域参画・住民参画の促進

いまのままでは、みなさまの想いを市政に十分に反映させることも、厳しさを増す自治体間競争に勝ち抜くために本市独自の政策を推進することも難しくなります。このような財政状況を一刻も早く脱し、市民ニーズへの確に対応するためには、企業やNPO、各種団体との連携を密に図り、民間活力を積極的に導入して包括的な施策構築を推進することが重要です。

そしてなによりも重要なことが**国政・県政との連携**です。昨年度にすべて完了した小中幼養学校への空調設備事業やキセラ川西の整備事業、健幸マイレージポイント地域還元制度などは、大塩市長が国政との連携を積極的に図り、国からの支援を得て実施した大きな成果の一例です。自治体間競争が今後一層進む中で、他市町にお住まいの方々が積極的に本市を選びたいような政策や、本市にお住まいの方々がいつまでも住み続けたいような政策を立案し、他市に誇る都市ブランド「かわにしブランド」を確立していくためには、大塩市長が3期12年間にわたって築いてこられた国政・県政とのパイプを、いま絶対に途絶えさせるわけにはいきません。

川西を愛する若手経営者たちと研鑽を重ねてきた私だから出来ることがあります。  
川西と国政・県政を繋ぐことが出来る、私にしか実現出来ないことがあります。

いままでのやり方を壊さず、活かし、より前に進めていきます。みなさまとともに。

